

# 主な健康影響・疾患の有症率

参考資料4

健康影響		平成18年度 学校保健統計調査 (文部科学省)	平成12年 乳幼児身体発育調査 (厚生労働省)	平成17年度 母子保健の主なる統計 (母子保健事業団)	平成17年度 大気汚染に係る環境保健 サーベイランス調査報告 (環境省環境保健部)	その他の文献
身体発達	出生時体重低下	-	-	9.6% (2500g以下) 0.7% (1500g以下)	-	-
	言語障害	0.37% (幼稚園) 0.30% (小学校) 0.09% (中学校) 0.02% (高等学校)	言語機能通過率 (単語を言う) 95.0% (5~6歳) 97.6% (6~7歳)	-	-	-
	運動機能	-	運動機能通過率 (ひとり歩き) 93.8% (3~4歳) 99.6% (4~5歳)	-	-	-
精神神経発達障害 (自閉症、注意欠陥多動性障害)		-	-	-	-	注意欠陥多動性障害、診断基準はDSM-III-R (文献1) 5.6% (3歳) 3.0% (5歳)
免疫系の異常	ぜん息	2.36% (幼稚園) 3.74% (小学校) 2.95% (中学校) 1.71% (高等学校)	-	-	3.32% (3歳) 5.88% (6歳)	-
	アトピー性皮膚炎	3.77% (幼稚園) 3.62% (小学校) 2.76% (中学校) 2.25% (高等学校)	-	-	11.1% (3歳) 14.8% (6歳)	-
代謝・内分泌系の異常	肝臓疾患	0.03% (幼稚園) 0.18% (小学校) 0.24% (中学校) 0.23% (高等学校)	-	-	-	-
	先天性代謝異常	-	-	検査による異常者発見率 0.0016% (フェニールケトン尿症) 0.0005% (楓糖尿症) 0.0004% (ホモシスチン尿症) 0.0029% (ガラクトース血症) 0.0057% (先天性副腎過形成症)	-	-

(文献1) 相馬行男、就業前の子どもの注意欠陥多動性障害(ADHD)の研究、新潟医学会雑誌、120、324-328